

次期北海道医療計画（慢性腎臓病領域）素案に対する主な御意見について

意見の概要	意見に対する考え方	区分
<p>第二次医療圏のうち9圏域で専門医がいない状況です。また、透析の医療機関がない自治体が増えています。自宅から通院で透析ができるように拡充が必要です。</p>	<p>腎専門医がいない圏域があることから、専門医とかかりつけ医、メディカルスタッフ等が連携し、慢性腎臓病患者を早期に適切な診療につなげるため、地域特性に応じた診療連携体制の整備を図ります。</p> <p>また、病期に応じた適切な医療が提供できるよう、地域連携クリティカルパスやICTを活用した患者情報共有ネットワーク、慢性腎臓病対策連絡会議や保健医療福祉圏域連携推進会議等を活用し、患者の受療動向に応じた連携体制の充実を図ります。</p>	今後の参考